

TSURUOKA ROTARY CLUB

国際ロータリー第2800地区

鶴岡ロータリークラブ

平成20年3月18・25日(火) 第2401・2402回(本年度第33・34回)例会

●創立 昭和34年6月9日 ●例会日 毎週火曜日(12:30~13:30) ●例会場 東京第一ホテル鶴岡 鶴岡市錦町2-10



ROTARY SHARES
ロータリーは分かちあいの心



例会に出席し
友情を深めよう

本日の卓話 (3/25)

RIの近況

バストガバナー 藤川 享胤 君

3月11日(第2400回)例会報告

点 鐘

鶴岡 RC 創立 50 周年実行委員会

各委員会ごとに準備会議を開催

ビジター: 木村有為君(鶴岡西 RC)

会長報告

わが鶴岡の町にもようやく本格的な春が訪れようとしております。毎年この季節、お雛様を飾って楽しむ習慣があります。

私は鶴岡の伝統の探検も兼ねて方々のお雛様を見せていただいておりますが、今回は湯田川で初公開された白幡家のお雛様をさっそく家内ともども伺い拝見してまいりました。お雛様そのものも良かったのですが、古いお宅に大切に保管されたお人形を飾って皆さんをもてなして差し上げようという湯田川温泉の方々の思いが実を結んだもので、感激して帰ってまいりました。



◆会長ショートスピーチ

大腸がんは、病気の初期において何の苦痛も感じませんが、大きくなるにつれて、現代の発達した医療をもってしても病気の進行を止めることはできないことは皆様よくご存じのことと思います。

現在日本人の死亡する原因となる病気で最も多いのは、がんなどの悪性新生物といわれる病気です。最近の山形県の統計で、大腸癌が死亡の原因となる順位をみますと、男性では肺がんが第一位、胃がんが第2位で大腸がんは第3位となっています。一方、

次回の卓話 (4/1)

ゲストスピーチ

鶴岡青年会議所理事長 恩田 健次 氏

女性では大腸がんは胃がんの次に高い死因となっています。

この大腸がんですが、発院のごく初期に見つければ治療によって100%近くの例で退治できる病気です。そのために行政は、毎年大腸がんの検査が受けられるように努力しております。最近山形県で大腸がんの検診を受けた人の割合は検診予定人口の約40%です。この数は東京都の場合の10%前後と比べれば非常に高い割合です。この40%の中には開業の先生や病院で検査を受ける人は入っていません。実際は検査を受けた人の数はもっと多いかもしれません。しかし、なお未だに検診に興味がなく、診察をお勧めしてもなかなか応じてくれない方も結構いらっしゃいます。こういう方の中に進んでしまったがんが見つかることが時たま有り、頭を抱え悔しい思いをしております。比較的簡単にできる胃内視鏡検査と違って大腸の内視鏡検査は検査前の準備が大変ですし検査も結構苦痛を伴うこともあったりして症状がない人に検査を勧めるほうも遠慮がちになり、受けるほうも決断が鈍るということが背景にあります。何かの機会を利用して小さい内臓にがんを見つけて退治してゆくという姿勢が長生きのために必要だと痛感しております。

幹事報告

○ガバナー事務所

青少年交換留学生のスプリングキャンプについて
麻薬・覚せい剤乱用防止センターニュースレター

○鹿児島西 RC・会津若松南 RC

会報到着

◎50周年各委員会の報告は4/1の例会まで提出

会 長	真 島 吉 也
副会長	富 樫 松 夫
幹 事	本 間 昭 吉

会報委員会
事務局

青柳孝治 佐々木喆彦
鶴岡市馬場町11-63 産業会館3階
TEL:0235-28-3375 FAX:0235-28-3376

齋藤 昭君 本間喜美子君 佐々木喆彦君